

地震災害の経済被害評価のための産業フラ ジリティに関する一考察 -新潟県中越地震を対象として-

中野 一慶¹・梶谷 義雄²・多々納 裕一²

¹ 京都大学大学院 情報学研究科博士後期課程

E-mail: nakano@imdr.dpri.kyoto-u.ac.jp

² 京都大学防災研究所

本研究では災害による経済被害の評価のために不可欠な情報となる、生産資本の被害を推計する方法を構築する。本研究では地震動分布のデータをもとにして、生産資本の減少の程度を推計する。地域レベルでの詳細な生産資本のデータは入手困難なことから、本研究では生産資本の減少を生産量の減少から推計するという方法を用いる。地震動と生産量の減少の関係はフラジリティ曲線によって表現される。今回の発表では生産量のフラジリティ曲線の推計結果について報告する。

企業の生産水準には生産資本だけでなく、ライフラインや従業員など多くの要因が影響するため、それらすべてをモデル化し、生産資本の影響のみを抽出することは困難である。そのため、ある要因については明示的に考慮し、その他についてはモデルの不確実性としてとらえる必要がある。本研究では考慮する要因とモデルの不確実性の関係について考察する。

キーワード： 経済被害評価、生産資本、フラジリティ曲線、